



バッハの森通信

第110号
2011年
1月20日発行

財団法人筑波バッハの森文化財団

〒300-2635 茨城県つくば市東光台2-7-9 <http://www.bach.or.jp>

☎ 029-847-8696 / Fax 029-847-8699 e-mail: info@bach.or.jp

郵便振替 00380-4-16119 (財)筑波バッハの森文化財団

バロック教会音楽研究会

なぜオーディションをするのか？

新年を迎え、皆様、それぞれ、何らかの希望、計画、或いは、決意をもって新しい年を歩み出されたことと思います。私は、今、例年にない期待と不安、緊張とわくわくした思いに包まれています。今年4月に、これまでバッハの森になかった新しい形態の研究会として「バロック教会音楽研究会」の開設を決心したからです。

* * *

バッハの森は創立以来、メンバーの自由意志に基づく組織として運営されてきました。ですから、どの活動にも各人が希望通りに参加できました。オルガン教室も例外ではなく、オルガンを習いたい人は誰でも参加することができました。

2年前に石田一子（オルガニスト）が亡くなるまでは、こののんびりしたバッハの森方式で、オルガンとオルガン教室は維持されてきました。しかし、彼女が亡くなって2年たち、この間、オルガニストのメルカールトさんが週に2回数時間来てオルガンを教え、合唱の伴奏をしてくださいましたが、これではオルガンという貴重な楽器は維持できないことがはっきりしました。

クリスマス・コンサート直前に、いつものようにオルガンの調整をしてくださった三橋利行さんが、「このままの状態が続けば、このオルガンは早晚駄目になりますよ。一子先生がいらしたころはこういうことはなかった」と厳しい口調で警告し

てくださいました。1206本、19列あるパイプの、恐らく三分の一位しか使用していないため、空気を通さないパイプが駄目になるというのです。

そう言えば一子は毎日暇があれば何時間でも弾いていました。それもいろいろな曲を。要するに、オルガンは、専任のオルガニストがいて、四六時中弾いていなければ維持できない楽器なのです。愛好家の皆さんが、弾ける曲だけ週に1時間か2時間さらっていたのでは、どうも維持できないことがよく分かりました。

* * *

このようなわけで、自由意志による自由参加というバッハの森の原則と抵触することを覚悟で、「バロック教会音楽研究会」を設立し、その一部門として「オルガン／クラヴィコード・クラス」を始めることにしました。その受講生になるためには、オーディション、すなわち、試験を受けて合格しなければなりません。

こうして、オーディションをパスして受講生になった皆さんには、3年のコース期間中、バッハの森のオルガン音楽の活性化と楽器の維持に励んでいただきたいと思っています。また彼らは、「聖書」「合唱」「コラールとカンタータ」など、バッハの森の学習プログラムに参加することになっていますから、一般メンバーは良い刺激を受けることができるでしょう。

なお、オーディションは受けたくないという愛好家の皆さんのためには、これまでどおり、この素晴らしいオルガンを気楽に楽しむクラブの準備をしています。ご安心ください。

新設される研究会の詳細は、受講生募集パンフレットに発表されています。多くの皆さんの応募をお待ちしております。

(石田友雄)

命を贈り合う

愛と平和を求める生き方

*このメディタツィオは「クリスマス・コンサート」(2010年12月19日)で朗読されました。

12月になると、日本中が一斉にクリスマス・モードになります。このごろは商店街だけではありません。一般の住宅地でも隣の家同士が競い合うように、ツリーを立て、電飾でキラキラと飾り立てています。もちろん、主役はサンタクロースです。赤い帽子と外套をまとった白い髭のお爺さんが、プレゼントが一杯詰まった大きな袋を背負い、遠い北国から、となくが曳くそりに乗ってやって来て、夜の間にと子どもたちにプレゼントを配って歩くというメルヘンが、あちらこちらで語られる季節です。

しかし、本来クリスマスがイエス・キリストの誕生を祝う祭日だということは、皆さん、すっかり忘れていたようです。本当の主役であるイエス・キリストの姿が、すっかり霞んでしまったクリスマスというお祭りが、サンタクロースからプレゼントを貰うお祭りとして、広く一般に定着し、盛大にお祝いされていることは、考えてみると、不思議な現象ではないでしょうか。

貰って嬉しいクリスマス・プレゼント

年末に贈り物をする習慣として、お歳暮があります。しかし、お歳暮は、この一年お世話になった人、時には来年お世話になるであろう人に贈る贈り物ですから、贈る方も贈られる方も計算づくです。クリスマス・プレゼントは違います。朝起きたら枕元に、サンタクロースが持って来てくれたプレゼントをみつけたときの子どもたちの喜びに溢れた顔、或いは、皆さんが子どもだったときのことを思い出してください。それは純粋に貰って嬉しいプレゼントなのです。しかも、子どもが喜ぶプレゼントを実際に贈る人は、言うまでもなくサンタクロースではありません。子どもたちの両親です。このような習慣を通して、ここにいらっしゃる大勢の方々は、愛する者にプレゼントを贈る楽しさを経験なさっているに違いありません。

こうして、クリスマスはお互いにプレゼントを贈り合うお祭りになりました。それも純粋に、プレゼント

を貰う喜びと贈る喜びを楽しむ日になったのです。このような習慣はどこから始まったのでしょうか。

サンタクロースの元祖

4世紀に小アジアのミュラにニコラオスという司教がいました。彼は貧しい子どもたちの救済に熱心だったことで知られ、後に子どもたちの守護聖人になりました。彼は聖ニコラオスと呼ばれ、それが訛ってサンタクロースになったのです。ニコラオスの慈善活動のルーツは、言うまでもなく、彼のキリスト教信仰でした。ですから、イエス・キリストの姿がすっかり霞んで、サンタクロースが主役になっても、クリスマスに贈り物を楽しむ習慣には、間違いなく、イエス・キリストの精神が反映しているのです。

ところで、キリスト教会は、十字架の上で絶命したイエスの死を、自分の命を犠牲にして、世の罪を取り除いた贖いの業であると説明してきました。「犠牲にして」とは「贈り物にして」という意味ですが、それにしても、突然、「十字架」「犠牲」「世の罪」「贖い」などという聞き慣れない言葉の羅列に、多くの皆さんは戸惑っていらっしやるのではないのでしょうか。これは、長い宗教史の伝承の上に構築された説明、乃至は教義ですから、分からなくて当然です。しかも、とても一言では説明できない複雑な話なので、この際、教義の説明は省略して、キリストは「自分の命を贈り物にした」という言葉の意味だけを考えてみようと思います。

友だちのために命を捨てる愛

キリスト教徒が神として礼拝するイエス・キリストは、元々は、2000年前にパレスチナのガリラヤ地方で、この世に「神の王国」の実現を目指して活動していた一人のユダヤ人でした。なお「神の王国」とは、神の正義が支配する世界という意味です。ここで「神の王国」に関する彼の多くの言葉の中から、その一つを紹介しましょう。

友だちのために自分の命を捨てる

これより大きな愛はない

(ヨハネによる福音書15章13節)

この言葉から、友だちの身代わりになって死ぬ、という極限状況だけを考えないでください。確かに、そのような場合もあります。しかし、より一般的に解釈するなら、「命」とは日々の生活の積み重ねであり、「友だち」とは自分以外のすべての人々のこ

と、そして「捨てる」とは「贈り物」にすることだと理解できます。要するに、自分の命、すなわち生活を、自分以外の人に贈り物にする、すなわち、役立てることができたら、そこに「愛」が生じると言うのです。「愛」とは人と人の間に成り立つ最も美しい関係であり、この関係は「平和」と言い換えることができます。このような関係が人と人の間に成り立つ世界、それが「神の王国」だと、イエスは教え、そして実行しました。

しかも、イエスの思想の源泉であった聖書は、命は神が人間に贈った「贈り物」だと教えます。しかし、何も聖書に学ばなくても、自分の命が「貰い物」であることは、少し考えれば、誰にでも分かることです。自分の命を自分で創り出した人はいないからです。命は親から、先祖から、神から、(と云いたくない人は自然からでも結構)、要するに「貰い物」であることを誰も否定できません。

神から「贈り物」として貰った命を、私たちがお互いに贈り合えば、そこに愛が、平和が、そして神の王国が成立するとナザレのイエスは教えたのです。これが、後で教会が、キリストは「自分の命を贈り物」にして我々を贖ったと説明した教義が、本来意味していたことです。

命を贈り物にしたイエス

ナザレのイエスがこの言葉を実行した様子を福音書は伝えます。彼は、悲しんでいる人、飢えている人、病気の人など、不幸な人々を見ると放っておけない性分の方でした。そこで、彼の活動は、病人を癒し、盲人を見えるようにし、わずかの食料で5000人を養い、遂には、死人を甦らせたというような、奇跡の連続になりました。今となっては、これらの奇跡が、実際にはどのようなことだったのか、詮索しても余り意味はありません。ただ一つ確かなことがあります。これらの奇跡物語が伝える活動を通して、イエスは、不幸な人々に自分の命を役立てた、すなわち、「贈り物」にしたということです。

当然、彼の周りには大勢の群衆が集まりました。その結果、支配層の妬みを買ひ、最後には反乱を企てたという濡れ衣を着せられて十字架にかけられ、処刑されたことをご存知の通りです。こうして、地上に神の王国の実現を目指したイエスの活動は呆気なく終わりましたが、彼の弟子たちが彼の活動の継承を目指して集まりました。教会の始まりです。その教会から聖ニコラオスのような人も出ましたから、教会がイエスの活動を継承したことは間違いありません。ただし、同時に、この2000年間、教会は、到底イエスの活動を継承した団体であるとは思えないような思まわしい行動もとってきました。そして、

何よりも、イエスが目指していた神の王国は未だに実現していません。

愛と平和を求めて

イエスは本当に、地上に神の王国を実現できる、と考えていたのでしょうか。もちろん、考えていたと思います。しかし、そのための政治的プログラムのようなものは、全く残していません。彼を尋問したローマ人総督ピラトに向かって、私の国はこの世に属していないと語ったように、地上に実現する神の王国は、この世とは別の次元に属していると考えていたようです。だから、彼はこの世の力の前には全く無力でした。無抵抗で逮捕され、呆気なく処刑されて終わってしまいました。

では、この世に神の王国を実現することなど、もともと不可能な夢なののでしょうか。ナザレのイエスは無責任な夢想家だったのでしょうか。現実主義者は、命を奪い合って生きるのがこの世の定め、命を贈り合うなどと甘いことを言っていたら自分が死ぬしかない、と言います。この現実論はいかにも真理に見えますし、大多数の大人は賛成するでしょう。それにもかかわらず、自分の命を贈り物にして生き、そして死んでいったナザレのイエスという人物が、この世に実在した事実は変わりません。だから、たとえ彼が失敗者であっても、もし私たちが愛と平和を求めるなら、どうしてもお互いに命を贈り合う生き方を探し求めないわけにはいかないのです。

そのために、彼の言葉を今年のクリスマス・プレゼントとして皆様に贈ります。

友だちのために自分の命を捨てる、これより大きな愛はない。

(石田友雄)

* * *

寄付者芳名 (敬称略日付順) (2010.9.28-12.20)

下記の方々から計610,000円のご寄付をいただきました。

建物維持積立寄付 (敬称略日付順)

下記の方々から計85,000円のご寄付をいただきました。

日誌 (2010. 10. 3 - 12. 31)

10. 8, 15, 22, 29
運営委員会 各参加者4名、3名、4名、4名。
10. 9 - 10
合唱ワークショップ 参加者15名、12名。
10. 10 **ハンドベル特別練習** 参加者7名。
10. 16 **訪問** フォーシェ・キャロル氏 (筑波大学準教授)、ダリエヴァ・ツブルマ氏 (筑波大学準教授)、イェンス・リーブヒェン氏 (写真家)、他2名。
10. 19 **訪問** 鈴木靖夫氏、黒沢建一氏、他1名 (公認会計士・鈴木事務所)。
11. 5, 12, 19, 26
運営委員会 各参加者4名。
11. 19 **打ち合せ** 鈴木靖夫氏、黒沢建一氏 (公認会計士・鈴木事務所)。
12. 1, 3, 10
クリスマス人形飾り付け 各参加者3名、4名、4名。
12. 3, 10, 17, 24
運営委員会 各参加者4名。
12. 11 **クリスマス祝会** 参加者23名。
ハンドベル特別練習 参加者7名。
12. 12 **クリスマス物語** 参加者20名。
12. 18 **オルガン調律** 三橋利行氏。参加者2名。
12. 19 **クリスマス・コンサート** 参加者59名。
12. 20 **冬期休館** 2011年1月11日まで。

J. S. バッハの音楽鑑賞シリーズ

「コラールとカンタータ」(JSB)

9. 11 第302回 (三位一体後第4主日)、カンタータ「永遠の愛の憐れみの心よ」(BWV 185); オルガン: J. S. バッハ「私はあなたを呼び求めます、主イエス・キリストよ」(BWV 639)、笠間きよ子。参加者14名。
9. 18 第303回 (三位一体後第7主日)、カンタータ「すべての者はあなたを持ち望んでいます」(BWV 187); オルガン: S. シャイト「我ら心の底より歌わん」、金谷尚美。参加者15名。
9. 25 第304回 (ミカエル祭)、カンタータ「主なる神よ、私たちは皆あなたを誉め称え」(BWV 130); オルガン: J. L. クレプス「同上」、海東俊恵。参加者15名。
10. 2 第305回 (三位一体後第9主日)、カンタータ「この世に私は何を求めよう」(BWV 94); オルガン: M. レーガー「おお神よ、あなた、誠実なる神よ」、J.=Ph. メルカールト。参加者15名。
10. 16 第306回 (三位一体後第14主日)、カンタータ「イエスよ、あなたは私の魂を」(BWV 785); オルガン: J. S. バッハ「同上」(BWV 353)、當眞容子。参加者17名。
10. 23 第307回 (三位一体後第15主日)、カンタータ「全地において神に歓呼の声をあげよ」(BWV 51); オルガン: J. G. ヴァルター「わが魂よ、いざ主を誉め称えよ」、笠間きよ子。参加者12名。
10. 30 第308回 (宗教改革記念日) 台風のため中止。
11. 6 第309回 (三位一体後第19主日)、カンタータ「私は悦んで十字架の木を負おう」(BWV 56); オルガン: J. S. バッハ「おお、世の美しい仕組みよ」(BWV 301)、當眞容子。参加者12名。

11. 13 第310回 (三位一体後第22主日)、カンタータ「私は哀れな人間、私は罪の下僕」(BWV 55); オルガン: G. A. ホミリウス「十字架の上の方が私の愛する方」、J.=Ph. メルカールト。参加者16名。
11. 20 第311回 (三位一体後第26主日)、カンタータ「日覚めよ、祈れ、祈れ、日覚めよ」(BWV 70); オルガン: G. ベーム「喜べ、おお、私の魂よ」、當眞容子。参加者12名。
11. 27 第312回 (アドヴェント第1主日)、カンタータ「さあ、来てください、異邦人の救い主よ」(BWV 61); オルガン: J. S. バッハ「同上」(BWV 599)、安西文子。参加者18名。

学習コース

- バッハの森・クワイア (混声合唱)** 10.16 / 15名、10.23 / 18名、10.30 / 中止、11.6 / 15名、11.13 / 18名、11.20 / 14名、11.27 / 19名、12.4 / 18名、12.11 / 18名、11.18 / 21名。
- バッハの森・ハンドベルクワイア** 10.16 / 6名、10.23 / 7名、10.30 / 中止、11.6 / 7名、11.13 / 7名、11.20 (クリスマス物語練習) / 9名、11.27 / 7名、12.4 (クリスマス物語練習) / 10名、12.11 / 7名、11.18 / 7名。
- バッハの森・声楽アンサンブル** 10.16 / 5名、10.23 / 7名、10.30 / 中止、11.6 / 7名、11.13 (クリスマス物語練習) / 10名、11.27 (クリスマス物語練習) / 10名。
- 教会音楽セミナー (1)** 10.6 / 4名、10.13 / 6名、10.20 / 5名、10.27 / 6名、11.10 / 6名、11.17 / 5名、11.24 / 5名。
- 教会音楽セミナー (2)** 10.26 / 7名、11.30 / 4名。
- 入門講座: 聖書を読む** 10.16 / 7名、10.23 / 6名、10.30 / 7名、11.6 / 8名、11.13 / 7名、11.20 / 6名、11.27 / 6名。
- 聖書ヘブライ語** 10.16 / 6名、10.23 / 5名、10.30 / 6名、11.6 / 7名、11.13 / 6名、11.20 / 6名、11.27 / 6名。
- 教会歌を学ぶ** 10.16 / 6名、10.23 / 8名、10.30 / 中止、11.6 / 8名、11.13 / 7名、11.20 / 6名、11.27 / 8名。
- オルガン鍵盤和声** 10.6 / 4名、10.13 / 5名、10.27 / 6名、11.10 / 5名、11.17 / 4名。
- オルガン教室** 10.6 / 3名、10.13 / 2名、10.27 / 3名、11.10 / 4名、11.17 / 3名。
- オルガン練習** 10.5 / 3名、10.6 / 2名、10.7 / 2名、10.8 / 2名、10.9 / 1名、10.12 / 2名、10.13 / 1名、10.14 / 2名、10.15 / 4名、10.16 / 2名、10.19 / 3名、10.20 / 4名、10.21 / 4名、10.22 / 2名、10.23 / 2名、10.25 / 1名、10.26 / 6名、10.27 / 2名、10.28 / 3名、10.29 / 2名、10.30 / 2名、11.1 / 1名、11.2 / 4名、11.3 / 1名、11.4 / 2名、11.5 / 1名、11.9 / 3名、11.3 / 2名、11.11 / 3名、11.12 / 1名、11.13 / 1名、11.16 / 4名、11.17 / 2名、11.18 / 3名、11.19 / 2名、11.24 / 3名、11.25 / 3名、11.26 / 2名、11.27 / 1名、11.30 / 1名、12.1 / 2名、12.2 / 1名、12.3 / 2名、12.7 / 3名、12.8 / 1名、12.9 / 2名、12.10 / 1名、12.14 / 2名、12.15 / 2名、12.16 / 2名、12.17 / 1名、12.21 / 5名、12.22 / 2名。